

お知らせ

- ・点灯、消灯時に枠の収縮、膨張により、きしみ音が発生する場合がありますが、異常ではありません。
- ・LEDにはバツキがあるため、同一形名の器具でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- ・LED光源の交換はできません。交換の際は器具ごと交換ください。

お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの



禁止

お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。(火災・感電の原因)

器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。(火災・感電の原因)

器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。(過熱して火災の原因)

器具の改造や指定部品以外の交換はしない。(火災・感電・落下の原因)



厳守

器具の清掃は電源を切ってから行う。(感電の原因)

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源を切る。(火災・感電の原因)



注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの



禁止

光を直視しない。(長時間直視すると目を痛める原因)

点灯中及び消灯直後の器具には触らない。(高温のためやけどの原因)



厳守

レンズはガラス製のため、取扱いに注意する。(割れたときけがの原因)

明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う。(発火・感電・落下の原因)

不具合があったら、そのまま使用しないで工事店または電気店に修理を依頼する。

・照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。

・周囲温度が高い場合は寿命が短くなります。

・3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。

・点検せずに長期間使用し続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

お手入れ



警告 電源を切ってから行う。(感電の原因)



注意 点灯中及び消灯直後の器具には触らない。(高温のためやけどの原因)

<器具のお手入れについて> 器具の汚れがひどいときは、柔らかい布を使用量の目安まで水でうすめた台所用中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。台所用中性洗剤は、原液のまま使用しないと、シンナー・ベンジン・みがき粉やたわし・熱湯・アルカリ性洗剤・薬品などは使用しないでください。

<レンズのお手入れについて> レンズはキズつきやすいのでメガネ拭き等柔らかい布で拭いてください。

定期点検

- ・3ヶ月に1回、破損・変形などの外観点検をおすすめします。
- ・6ヶ月に1回、外観点検と機能点検(非常点灯持続時間と切替動作)を併せて行ってください。点検については[建築基準法施行規則第6条]に定められていますので、必ず実施してください。

保証

■無償修理
照明器具の商品納入日より1年間、また照明器具に内蔵されているLED光源・コントロールユニットは3年間です。

■無償提供
LED光源・電源ユニットの故障による不点灯不具合につきましては、代替商品またはLED光源・コントロールユニットを5年間無償提供させていただきます。

※保証期間と保証内容についての詳細はカタログを参照ください。

異常時の処置



警告 煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。(火災・感電の原因)

煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店・施工者・設備業者へ

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船 2-14-40

☎相談窓口 照明技術相談センター

☎0120-348-027 (無料)

受付時間 9時～17時(土・日・祝日は除く)
FAX (0467) 46-8861

お買上げの販売店等にご依頼できない場合は、ご相談窓口へお問い合わせください。



三菱LED非常用照明器具 [電源別置形]

直付形

形名 EL-WCT31112A EL-WCT31113A

防雨・防湿形

HACCP対応

据付工事説明書
取扱説明書

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきましてありがとうございました。

・据付工事・ご使用前に、この「据付工事説明書・取扱説明書」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

・「据付工事説明書・取扱説明書」は大切に保存してください。

・お客様ご自身では据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません。)

・この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書を必ずお読みください。

工事店様へ
工事終了後、この「据付工事説明書・取扱説明書」を必ずお客様へお渡しください。

○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。アフターサービスもできません。

○電源周波数 50Hz、60Hz 共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

保管用

販売店・工事店様用

お客様用

もくじ

安全のために必ず守ること……………2
お願い……………2

【据付工事説明書】

試運転……………3
お客様への説明……………3
使用部品(各部の名称)……………3
据付場所の確認……………3
標準据付工事の方法……………3～5
据付工事後の確認……………5

【取扱説明書】

仕様……………5
お知らせ……………6
安全のために必ず守ること……………6
お手入れ……………6
定期点検……………6
保証……………6



施工者さまへ




○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。




安全のために必ず守ること

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
△警告 △注意 の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

 絶対に行わないでください。
 必ず指示に従って行ってください。

 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの			
 禁止	高温 (35°Cを超える)、高湿度 (85%RHを超える)、 粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場 所で使わない。(落下・感電・火災の原因)	 厳守	軒下などの屋側以外の屋外で使わない。 (浸水による感電の原因)
	傾斜天井、補強のない天井では取付けない。 (火災・落下の原因)		ダクトレールには取付けない。(落下の原因)
	引火する危険のある雰囲気では使わない。 (ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー 可燃性粉じんのある場所では使わない)(火災の原因)		施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術 基準・内線規程、取扱説明書に従う。 (施工不備により、火災・落下・感電の原因)
	狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して 使う場合は、放熱を妨げない。 (器具が過熱して火災の原因)		器具の取付けは取扱説明書に従う。 (不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因)
	風呂場など水や湿気の多い場所で使わない。 (火災・感電の原因)		器具の取付けは、質量に耐える所に取付ける。 (落下の原因)
	器具取付けの際は電線を挟まない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)		電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込 む。(接続が不完全な場合は接続不良による発熱によ り火災の原因)
	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。 (絶縁破壊により感電・火災の原因)		電源線は、適合太さのものを指定長さに被覆を むき、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む。(差し 込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)
	表示された電源電圧以外では使わない。 (火災・感電の原因)		送り配線は非常用照明器具専用とし、容量を確認 して接続する。(容量を超えると電源端子台が過熱・ 損傷し火災の原因)
	分電盤と電源端子台の間には電源スイッチを 設けない。		本体を確実に取付ける。 (取付けが不完全な場合落下の原因)
	常用点灯では使用しない。(火災・故障の原因)		取付面外周は防水シール材等ですき間を埋める。 (水気の侵入で絶縁不良になり火災・感電の原因)
電源線を器具の外部に触れさせない。 (過熱して火災の原因)	アース工事は電気設備の技術基準に従う。 (アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)		
機械洗浄機などを使用した非常に強力な水噴射は 避けてください。(火災・感電の原因)			

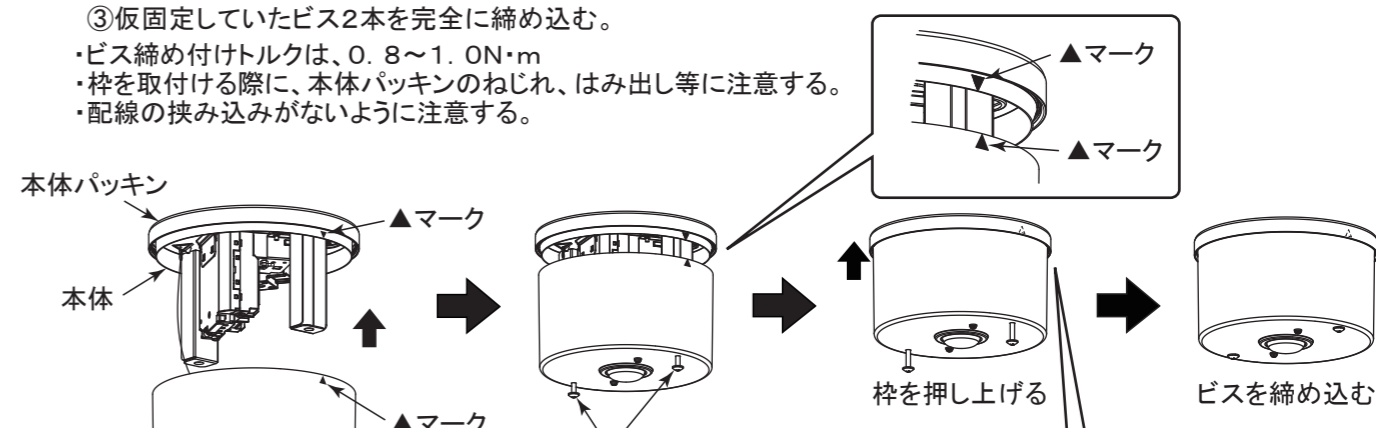
 注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または 家屋・家財などの損害に結びつくもの			
 禁止	さびの出やすい場所、腐食性ガスが出る場所で 使わない。(劣化による落下の原因)	 禁止	器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面 には取付けない。 (絶縁不良やさびにより感電・落下の原因)
	雨水のかかる場所で使わない。 (水気・湿気が入り感電の原因)		

お願い


- 商品監視システム(防犯センサー)の一部の機器は電源ユニットの周波数と干渉して誤動作する場合やリモコンが正常に作動しない場合がありますので事前に商品監視システムのメーカーにご確認ください。
光学特性等に不具合が発生することがあります。
- 温泉地など、硫黄成分を含む腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。
- 油煙のある場所では使わないでください。光学特性が低下する原因となります。
- 電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
- 器具の点検を考え、点検保守が行いにくい場所(足場のない高所・狭所)では、点検保守を考慮した取付けをしてください。

5 枠を取付ける

- ① ①本体の▲マークと枠の▲マークを合わせて、ビス2本を手締めで仮取付けする。(完全には締め込まない)
 ② 枠の外周が本体パッキンの内側に入るまで枠を押し上げる。
 ③ 仮固定していたビス2本を完全に締め込む。
 ・ビス締め付けトルクは、0.8~1.0N・m
 ・枠を取付ける際に、本体パッキンのねじれ、はみ出し等に注意する。
 ・配線の挟み込みがないように注意する。

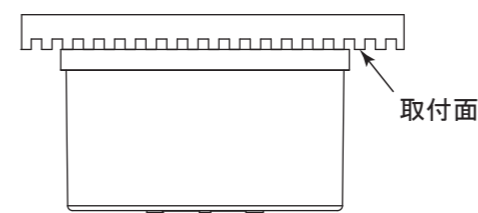



ビスを手締めで仮取付けする(完全には締め込まない)

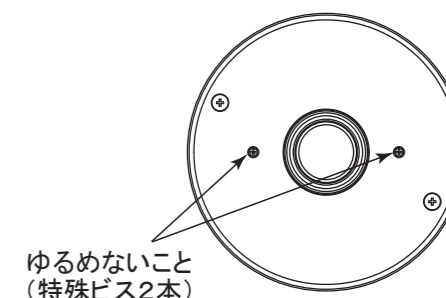
 **警告** 枠を確実に取付ける。(取付けが不完全な場合落下・火災・感電の原因)

- 不完全取付けの場合は、枠を取り外し、再度取付けを行う。
- 枠が変形している場合、防水性能が確保できなくなるため、変形がある場合は交換する。

- ② 取付面に凹凸がある場合、本体と天井間及び取付け穴のコーキングを行う。
 ・無理に押し上げない。破損の原因となる。
 ・器具取付後は、取付け部を軽く床方向に引き下げ外れないことを確認する。



 **警告** 確実に防水処理をする。(防水が不完全な場合火災・感電の原因)



据付工事後の確認

据付工事が完了しましたら、下表に従ってもう一度点検してください。不具合がありましたら必ず直してください。お客様立ち会いで確認してください。(機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません。)

チェック内容	チェック欄
電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込んでいますか。(P.4)	
本体が天井に確実に固定されていますか。(P.4)	

仕様

形名	光源	定格電圧	周波数	定格電流[mA]	消費電力[W]
EL-WCT31112A	LED モジュール	AC100V	50/60Hz	98	9.4
EL-WCT31113A		DC100V	—	93	9.3

試運転

据付工事後、お客様立ち会いで試運転を行ってください。非常点灯・点検方法など安全を確保するための正しい使い方について確認し、お客様に説明してください。

お客様への説明

- ・取扱説明書に従って、正しい使い方をご説明ください。とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- ・この取扱説明書は、据付け後お客様にお渡しください。
- ・物件などで使用者が不在の場合は、発注者（オーナー、ゼネコン）や管理人などに説明してください。

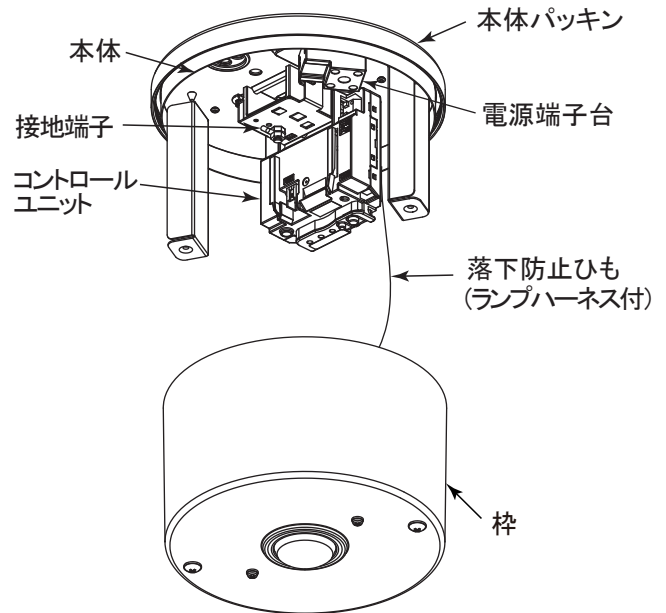
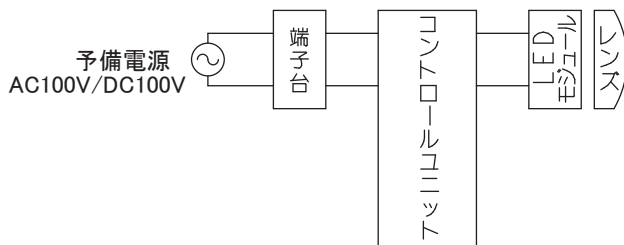
使用部品（各部の名称）と据付場所の確認、標準据付工事の方法



警告

器具の取付けは取扱説明書に従い行う。
（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）

接続図



1 取付前の確認

- ・器具質量に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。

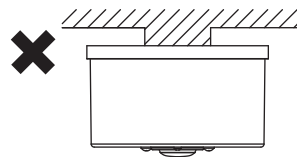
形名	質量
EL-WCT31112A	0.9kg
EL-WCT31113A	



警告

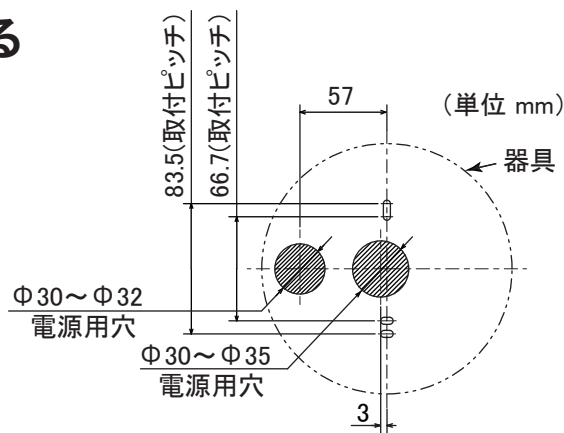
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける。（落下の原因）

- ・落下防止ひも（ランプハーネス付）が確実に器具に接続されている事を確認し、ランプハーネスに張力がかからないよう配線をつかんだり、引張ったりしないよう注意すること。
- ・取付面が本体パッキンより小さい場所には取付けないこと。



2 天井に電源穴をあける

- ・天井の電源穴は右図を参考にあける。

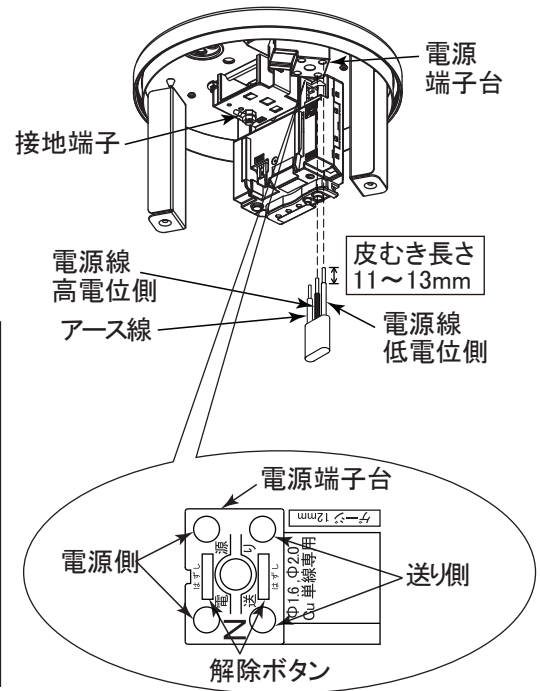
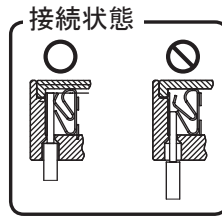


器具、電源穴を真下から見た図

3 電源線、アース線を接続する

- (1) 電源線を本体パッキンと本体の中央の穴に通す。
 (2) 電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。

- ・電源端子台の容量は **15A** です。
- ・適合電線: 耐火電線
 导体径: $\Phi 1.6 \sim \Phi 2.0\text{mm}$ (単線)
 被覆外径: $\Phi 4.4\text{mm}$ 以下
- ・電源線は専用回路とする。
- ・非常電源と非常用照明器具間の配線は、耐火電線で行う。



警告

- ・電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。
 (接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因)
- ・電源線は、適合太さ(导体径2.0mm以下、被覆外径4.4mm以下)のものを指定長さに被覆をむき、一本ずつ速結端子の奥まで差し込む。
 (差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)
- ・送り配線は非常用照明器具専用とし、容量を確認して接続する。
 (容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)

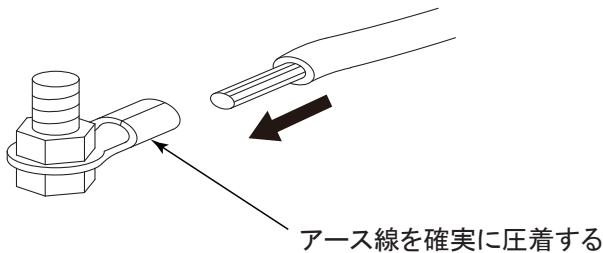
- ・電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを解除ボタンにまっすぐ差し込む。

警告

分電盤と電源端子台の間には電源スイッチを設けない。

- (3) アース線を接地端子に確実に取付ける(カンメ)。

※適合電線の导体径が $\Phi 1.6$ の場合は、端子R2-4(器具装着)を使用し、 $\Phi 2.0$ の場合は、端子R5.5-4(お客様手配)を使用すること。

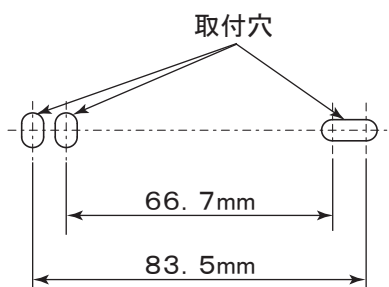


警告

- ・D種(第3種)接地工事を確実に行う。
 (接続不備は感電の原因)
- ・アース工事は電気設備の技術基準に従い行う。
 (アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)

4 本体を天井に取付ける

- (1) ねじ(市販品)を使用して下図の示す取付穴66.7mmか83.5mmのピッチで確実に取付ける。



警告

本体を確実に取付ける。
 (取付けが不完全な場合落下の原因)